

平成 30 年度 学校自己評価アンケート結果について

保護者

1. 回答者数・回収率 821 名・86.4%
2. 実施期間 平成 30 年 11 月下旬～12 月上旬
3. 評価の算出方法

1 よくあてはまる 2 ややあてはまる 3 あまりあてはまらない 4 全くあてはまらない
の 4 択で回答。評価は、1, 2, 3, 4 に比重 1, 0.5, -0.5, -1 を乗じて得た値の和で算出。

4. 集計結果分析

オレンジ色塗りつぶしの質問（質問番号 6, 2, 12）が上位 3 項目で、例年不変である。また、保護者向けのメール配信では配信回数を大幅に増やし、高い評価となった（質問番号 21）。

青色塗りつぶしの質問（質問番号 19, 13, 17）が下位 3 項目で、このうち、質問番号 17「コミュニケーション能力の育成」は、年々評価を下げている。本校では、コミュニケーション能力の定義として、「傾聴力」、「発信力」など 7 つの能力要素からなる独自の定義を採用し、総合的な学習の時間をはじめとする各種教育活動の中で、7 つの力の育成に取り組んでいるところである。

この分類 10 質問 17 の「コミュニケーション能力育成」の他に、分類 3 質問 9 の「進路に関する情報」、分類 5 質問 13 の「家庭への連絡」、分類 11 質問 20 の「社会貢献活動」の計 4 項目は、生徒と保護者の評価を比較して、その差が 20 以上と大きく、いずれも保護者の評価が低かった。総合的な学習の時間の学習内容、進路便り、生徒の社会貢献活動の状況等について、保護者への情報提供が不足していたためと考えられ、改善に努めたい。

67 名の方から、「進路情報の提供を」、「部活動計画の連絡が遅い」、「トイレを洋式に」、「制服の乱れ」など進路、部活動、施設、生徒指導など多岐にわたって御意見をいただいた。今後の改善に活かしていきたい。

生徒

1. 有効回答者数・回答率 928 名・97.7%
2. 実施期間 平成 30 年 11 月下旬
3. 評価算出方法 保護者のそれに同じ
4. 集計結果分析

オレンジ色塗りつぶしの質問（5, 15, 23）が、上位 3 項目である。質問番号 5「進路について学習する機会」は、例年評価が上がっている。

青色塗りつぶしの質問（10, 9, 21）が、下位 3 項目であり、例年不変である。分類 2 の質問 9「授業の工夫・分かりやすく充実」は、昨年度に引き続いて「肯定的回答が 80%以上」という目標を設定し取り組んできたが、昨年度とほぼ横ばいの 78.3%にとどまった。分類 6 質問 23「校内美化」も低迷を続けている。

「トイレをきれいに」、「照明を付けて」、「活動場所や活動時間を確保して」、「スマホルールの改善を」など、施設、部活動、校則などについて 124 名から意見があった。

御協力ありがとうございました。